

【議事録（書面会議）】

会議名	港区政要覧企画・編集業務委託第2回事業候補者選考委員会
開催日時	令和2年10月13日（火） 会議開催通知及び資料送付 令和2年10月19日（月） 委員から提出された採点基準表の集約 令和2年10月20日（火） 応募事業者への結果通知
開催場所	書面会議により開催（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため）
委員	出席者5名 委員（麗澤大学教授）、委員（企画経営部長）、委員（芝地区総合支所協働推進課長）、委員（産業・地域振興支援部文化・芸術担当課長）、委員（総務部人権・男女平等参画担当課長）
事務局	企画経営部区長室（区長室長、広報係長、広報係員）
会議次第	審議事項等 第一次審査の実施について（書類選考）
送付資料	資料1 企画提案書等（A事業者） 資料2 企画提案書等（B事業者） 資料3 委員名簿 資料4 採点基準表 資料5 募集要項等公表資料一式 資料6 質問回答一覧
会議の結果及び主要な意見（意見者）	
A委員	1 第一次審査の実施について（書類選考） 提出した採点基準表のとおりです。 A事業者の採点にあたっての講評をします。 基本的に前回のテイストを踏襲していますが、デザインなど完成度が高いです。前回課題となっていた「区の最新情報、写真が少ない」「資料編が厚く、特徴的な数字にきつきづらい」に対しては、改善が加えられる見通しになっています。表紙の写真もより印象的になっています。人物撮影について、「企画主旨に賛同をいただいた方々に」とあるが、人選についてはかなりきちんと調整する必要があると考えます。 B事業者の採点にあたっての講評をします。 A4版横型にする趣旨は記載されているが、現在のものとだいぶ趣が変わるので、どこまでいいものになっていくのか、ややイメージしづらいです。QRコードによる誘導はあったほうが良いと思います。SDGs達成に向けて未来をつくるコンテンツは非

B委員	<p>常にいいと思いますが、どのようなコンテンツにしていくか、相当な調整を必要とすると感じます。</p> <p>提出した採点基準表のとおりです。</p> <p>A事業者の採点にあたっての講評をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画提案書全体をとおして、見やすくイメージしやすいレイアウトとなっており、実際の制作にあたっての期待が高まる内容となっています。 ・区の情勢・施策、区政要覧発行の目的を的確にとらえ、観光冊子とも違う役割があるとの認識を持っていると感じます。 ・今までの区政要覧を踏襲しつつも、斬新な表紙デザインやコンセプトが提案されているところが評価できます。 <p>B事業者の採点にあたっての講評をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4横型にするという提案は、固定概念にとらわれない新しい発想であるが、資料だけでは判断できずプレゼンテーションを見て判断したいと思います。 ・ユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりを意識しているところは評価できるか、具体的にどのようなところが現行の区政要覧より配慮した部分となるのかがわかりにくかったです。 ・別冊データ集にはユニボイスコードを多言語で挿入する、ページ数を増やすという提案が盛り込まれているが、示されたスケジュールの中で進行できるのか疑問があり、評価を普通としました。
C委員	<p>提出した採点基準表のとおりです。</p> <p>A事業者の採点にあたっての講評をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難を乗り越えて未来に向かうという、区のあるべき姿・姿勢を的確に捉えた上で、必要十分な観点から区の特長、強みを効果的に伝える構成、現行要覧からの更新アイデアが示されていると感じました。 ・都市としての先進性、洗練性だけでなく、人が息づく街であることが十分表現されると期待できます。 <p>B事業者の採点にあたっての講評をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の特長や強みを捉え、写真のインパクトが強まる等ヨコ型レイアウトに変更する根拠を明確に示している点は評価できますが、構成など現行要覧からの更新案に関しては、魅力の発信効果がやや乏しいように感じました。
D委員	<p>提出した採点基準表のとおりです。</p> <p>A事業者の採点にあたっての講評をします。</p> <p>(1) 事業者概要及び業務実績</p> <p>それぞれ資格名の記載があり十分なものと感じました。実績も本件に加えて、市や町の要覧の実績があり、単なる観光冊子とは違うという説明からも実績は高得点としました。</p> <p>(2) 業務従事予定者</p> <p>冊子の従事者はもちろん、都市計画事業部という自治体の政策立案の業務を担って</p>

いる事業部との連携は、かなり強みと言えると判断しました。

(3) 全体構成

区の地理的な特徴はもちろん、区政の基本姿勢、参画と協働や総合支所制度など、かなり区の細部に至るまで理解をしており、B事業者とはかなり差が開きました。

(4) 具体的な掲載紙面

紙面のイメージはもちろん、説明資料のつくり方から、デザイン力の高さが感じられる分かりやすさで、この点でもB事業者とかなり差を感じました。

総合的に、デザイン力や企画・説明力はもちろん、港区政に対する細部までの理解と理解する姿勢を強く感じたため、A事業者のほうが相当優れていると採点しました。

B事業者の採点にあたっての講評をします。

(1) 事業者概要及び業務実績

資格名の記載がなく不明なため加点に至りませんでした。普通にそろっていると思われます。カメラマンについて、A事業者がフリーであるのに対してB事業者は専属で異なっていますが、影響は大きくないと想定して加点しませんでした。他自治体の実績も、要覧とは性質が異なるものも多いため加点に至りませんでした。

(3) 全体構成

区政への理解で、A事業者には記載がないICTや運河があり、普通よりは高得点にしました。ただ、A事業者が記載している参画と協働や総合支所制度からすると、区政に細部への理解という観点からA事業者には及ばないと感じました。

(4) 具体的な掲載紙面

原稿のデザインを一定評価しており、さらに視覚的に充実する、ということでしたが、充実の方策として記載されている内容が一般論であったこと、また、説明資料もA事業者と比較すると、視覚的にも単なる文書であり、デザインの向上の期待が持ちにくかったです。

総じて、単体で採点すれば、妥当な水準に達していると思うものの、A事業者との比較では、プラスアルファの部分が少なく、かなりの差を感じました。

E委員

提出した採点基準表のとおりです。

A事業者の採点にあたっての講評をします。

- ・他の作品も完成度が高く、読みやすかったです。
- ・SDGs、ポリティカル・コネクトレスの視点を取り入れている点は評価します。
- ・色調は少し暗く感じました。

B事業者の採点にあたっての講評をします。

- ・区のブランド力の分析力が少し甘いと感じました。
- ・構成案は興味深いですが、浮世絵がなくなったのは残念です。
- ・SDGsと四季の港区スポットは良い提案だと思います。
- ・表紙デザインは、子ども1人だとイメージが固定しすぎる感じがします。

(結論)

委員長

審議事項 第一次審査の実施について(書類選考)について、事務局が集計をします。

事務局	<p>集計結果について事務局から伝えます。</p> <p>集計結果をお伝えします。</p> <p>A事業者の一次審査合計点（加点項目含む）1696点（満点2000点+α）</p> <p>B事業者の一次審査合計点（加点項目含む）1302点（満点2000点+α）</p> <p>両者とも最低ラインである合計点の60パーセントを超えているため、第一次審査はA事業者が一位で通過、B事業者が二位で通過となりました。</p>
委員長	<p>2 閉会</p> <p>第2回選考委員会は以上をもって閉会します。</p> <p style="text-align: right;">-了-</p>